

ふるさと 通信員だより

vol.233

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域の話題を紹介します。なお、町では通信員を募集しています（活動はボランティアでお願いしています）。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係（内線216）にご連絡ください。



音更認定子ども園（白木幸久園長、園児190人）は、地域保育参観を開催しました。保育参観は、園での様子を知る唯一の機会であり、祖父母や地域の人たちが延べ1000人の参観。白木園長が「久しぶりの開催です。今後子どもたちを温かく見守ってください」とあいさつ。くわがた組やとんぼ組など11組の参観後、遊戯室に集合。4歳児からは、祖父母と一緒に手遊びを楽しみ、5歳児からは「きつとありがとう」の歌や「またきてね」と書いた手作りのカードをオリジナルのプレゼントすると会場内は、拍手と温かい笑顔に包まれていました。



たかだ てつこ
高田徹子 通信員

地域保育参観に
1000人



町スポーツ少年団本部（池田啓一郎会長）主催のボール運動交流会が行われました。37登録団体のうち7団体、28人の小中学生が参加しました。十勝スカイアース所属の横野選手らが競技内容を説明、進行をしました。参加者はチーム対抗でボールを的に当てたり、ゴムボールをコーンに乗せてリレーするなど、全9種目を競いました。フルコンタクト空手所属の鈴木吉征よしまささんは「ボール運動は好きなので、楽しく参加できた」と話をしてくれました。



いしだ ひろよ
石田尚世 通信員

スポーツ少年団
交流会